



澤畑議員

# 問

## 1. 児童・生徒の安全な通学方法の改善について

## 2. 児童・生徒の不登校、いじめ等の現状と対策について

**質問** 合併した時点で、安全通学の視点を重視した児童、生徒の通学方法を見直す必要がある。遠距離通学補助金交付要綱にも関連して、どのように見直し改善するのかお伺いします。

**町長** 合併後広範囲になった通学区の安全性の確認及び通学方法について調査しました。見直し改善した主なものとして、接岨線のスクールバスを導入し、来年一月から坂京、平栗地区の児童、生徒についてもスクールバスの運行を予定しております。次に、下長尾区通学路の危険箇所改良工事を進めております。そのほか、中中、中央小の通学路安全確保として黄色の注意表示ラインを引き直しております。いずれにしても、毎年児童、生徒の変更、道路網の整備等により条件が変わってきますので、保護者、学校のご意見、地域の実態等を踏まえ、常に見直し、改善を図ってまい



元気な子供達

す。これからは通学方法につきましても我々も含め行政と教育委員会そして、地域の方、PTAの方と共に注意深く見ていきたい。スクールバス化を今後さらにふやしていくということに関して町民全体の議論が必要かと考えております。

**質問** いじめによる自殺により教育現場は大きな問題となっている現状の中で、本町教育委員会、各校では、どのように受けとめ、対策を立て実践化しているかお伺いします。

**教育長** 不登校の本町の現状は、本年11月現在、小中合わせて4名おります。そのうち2名は軽度の不登校です。対策ですが、子どもの学校生活を充実させ「楽しく、学校に行きたい。」子どもづくりを目指してまいります。朝、校門で子どもにも声をかけたり、気になる子どもについては積極的に働きかけたり、休みがちな子どもに対しては時



登校風景

を置かず家庭訪問を実施したり、スクールカウンセラーに相談したり、時には不安なことはないかアンケート調査をしてお伺いしています。いじめについては本町にはありません。しかし、いじめがいつ何とき深刻なものにならないとも限りません。その対策としては、職員の共通認識を持つために研修会を開いたり、学校集会、学年集会、学級の中で繰り返し、いじめの卑劣さを指導したり、道徳の時間や読書活動を推進する中で心を耕したり、

教育相談体制をとったり、保護者との連携を図ったり、できる限りの対策を講じております。また教育委員会では毎月の校長会で生徒指導に関して報告を受け課題については指導したり、早期発見に努めております。

# 答

1. 保護者、学校の意見、地域の実態等を踏まえ、見直し・改善を図っていく
2. 学校生活を充実させ、「楽しく学校に行きたい」子どもづくりを目指す